

アレルギーがあっても笑顔。  
そして、自分らしい生き方を可能とし  
輝かしい未来を実現させる。

アレルギーを越えて。  
あなたらしい生き方を。

## ぜんそく・アトピー性皮膚炎で悩む皆さん あなたを支える患者の会です。

セルフコントロールをするための情報や、ピアカウンセリング(仲間同士の相談)を通じて、皆さんが前向きに生きることができるよう、サポートをさせていただきます。皆さんが日々の生活に希望を持ち、QOL(生活の質)が向上して、自分らしく生きることがきっとできるようになるはずです。

私達も患者です。私達の蓄積した経験と知識に基づき、情報を発信しながら、「患者」と「医療」と「社会」をつなぐ役割を果たす会なのです。



認定NPO法人 日本アレルギー友の会



## 活動内容

慢性疾患を持っていると、症状がよいときも悪いときもあり、このままの治療でよいのか、なにか改善しなければいけないのではないかなど、不安になることはありませんか？

そんなときに、いつでもあなたの近くにいるのが日本アレルギー友の会です。

患者や家族の皆さんが、正しい治療情報を得て、病気をもちながらも安心して暮らすことができるように、さまざまな活動を行っています。

### 1.患者による療養相談

電話や来訪による療養相談に応じています。日本アレルギー学会、日本皮膚科学会の治療ガイドラインに基づき、長年ぜんそくやアトピー性皮膚炎と付き合い、苦しみを乗り越えて来た相談員が、患者の立場からアドバイスをを行います。また、疾患を持つことの心の悩みや不安も、同じ患者だからこそ理解できる相談員が、ピアカウンセリング(仲間同士の相談)をすることによりサポートいたします。

こんな悩みや不安  
ありませんか？

- ◇病気がなかなかよくなり、処方された薬の副作用も心配。
- ◇今の治療で本当によいのか、専門医に診断してもらいたい。
- ◇病気の辛さや不安を、家族はわかってくれない。

### 2.月刊紙「あおぞら」の発行

専門医からの最新情報、患者の体験記、最新の薬の情報、日常生活での工夫、講演会案内など、患者の求める情報をまとめた機関紙を毎月ご自宅にお送りいたします。

### 3.専門医による講演会の開催

治療の第一線で活躍をしている専門医を講師に迎え、患者に必要な最新の治療情報を提供します。特に講師との質疑応答を充実させることにより、参加者が個別に抱える問題の解決を図っています。



### 4.患者交流会の開催

毎月第3土曜日に、日頃の悩みを患者同士で話し合い、疾患との付き合い方を共に学ぶ患者交流会を開催しています。ひとりで悩まずに、話してみませんか？

### 5.勉強会・座談会の開催

日常生活での対応法や吸入器などの正しい使い方、外用薬の塗り方の実演など、患者が知りたい身近な内容について専門家を招き、随時勉強会を開催しています。

### 6.ホームページの運営

信頼できる治療方法、専門医のかかり方、患者の体験記、薬の一覧や患者自身が質問に答えるQ&Aなど、患者に必要な情報を公開しています。

**[URL]** <http://www.allergy-gr.jp/>

### 7.メールマガジンの配信

会員以外の方にもメールマガジンで、様々な情報を配信しております。

### 8.講演活動・マスコミへの情報提供

日本アレルギー学会や日本皮膚科学会などの外部団体において、患者の立場からの提言や情報提供を行っています。また、アレルギー疾患の正しい知識と患者の意見を社会に発信するために新聞、テレビ、雑誌、書籍などへ情報提供をしています。

### 《出版物》

「患者だからわかる アトピー性皮膚炎」

「患者だからわかる 成人・小児ぜんそく」(小学館発行)





## 《顧問の先生方について》

ぜんそくやアトピー性皮膚炎の診療に実績のある約70名の専門医の先生を顧問に迎え、医療に関するご指導をいただき、患者の皆さんに、エビデンス(証拠)のある正しい知識を提供することが当会の使命と考えております。



**【宮本先生からのメッセージ】**  
日本アレルギー友の会は、過去約40年にわたり蓄積された経験と知識に基づく情報を発信されて、多くの患者さんに夢と希望を与え病気の自己管理、ひいては自立に向けて貢献してこられました。その業績は高く評価されています。

公益財団法人日本アレルギー協会理事長  
東京大学名誉教授 宮本昭正 先生

ぜんそく部門  
常任顧問



関東中央病院 呼吸器内科部長  
坂本芳雄 先生

アトピー性  
皮膚炎部門  
常任顧問



東京通信病院 皮膚科部長  
江藤隆史 先生

## 《会員の方々からのメッセージ》



### 【成人ぜんそく】

幼少時からのぜんそくで、30歳を過ぎてステロイド吸入を処方され、それからは大きな発作はなくなりました。友の会の情報や体験談は、ぜんそくを克服する拠り所となっています。調子のよい時は趣味の登山もでき、日本百名山の登頂や、念願の徒歩での英国縦断も達成できました。

### 【小児ぜんそく】

次女は1歳2ヵ月でぜんそくを発症してから、2歳までに7回も入院をするくらい重症でした。現在も治療を続けていますが、発作の回数は年に数回と、少なくなりました。友の会の講演会で、主治医以外の先生の話聞いて、気持ちが楽になったのを覚えています。主人も一緒に参加することで、ぜんそくへの理解も深まりました。また、一番大変だった時、友の会の方に親身に話を聞いてもらったことが支えになりました。



### 【アトピー性皮膚炎】

毎日の生活が困難になるほど、アトピーがひどかった私。錯綜するアトピー情報の中、医師の下で標準治療を行い、今は毎日ちゃんと生活できるようになりました。友の会で常に新しい情報提供を受け、わからないことは電話でアドバイスをもらい、安心してアトピーと上手に付き合っていけるようになりました。

## 《スタッフからのメッセージ》



理事長  
堀内 繁

365日中、360日はぜんそくから遠ざかっており、残りの5日は、風邪による気道感染症でのぜんそく症状ですが、早めの手当てでコントロールができ、休まず働いています。友の会で正しい知識を学んだ結果です。皆さんも、これからは自己管理・自己責任の社会形態になっていきますので、まずは当会の門を叩いてみてください。



事務局長  
丸山 恵理

私は生後3ヵ月から現在まで続く、アトピー性皮膚炎患者です。全身ボロボロで辛い時期を何回も乗り越えてきました。正しい情報を得てセルフコントロールすることにより、充実した人生を送ることができると、今悩んでいる人たちに伝えたいと活動をしています。自分にとってマイナスでしかなかったアトピーの経験が、友の会で役立つことが嬉しいです。



相談員  
佐藤 瑞穂

2歳からのぜんそく患者で、今は吸入ステロイドを中心としたコントロールをしっかりと行うことで、普通の生活をしています。ぜんそくで悩み、苦しむ方に対して、正しい情報・アドバイスを送ること…それが昔ひどいぜんそくで苦しんだ私の使命だと考えております。ひとりで悩まずに、まずはお話しをしてみませんか？

《 賛 助 企 業 》 認定NPO法人日本アレルギー友の会は、下記企業のご支援を得て運営しております。

アクセーヌ(株)  
アステラス製薬(株)  
アストラゼネカ(株)  
アボットジャパン(株)  
エーザイ(株)  
N I 帝人商事(株)

M S D(株)  
オムロンコーリン(株)  
(株)カービックジャパン  
花王(株)  
グラクソ・スミスクライン(株)  
サノフィ(株)

塩野義製薬(株)  
(株)資生堂  
ダイワボウノイ(株)  
田辺三菱製薬(株)  
帝人ファーマ(株)  
鳥居薬品(株)

ノバルティスファーマ(株)  
パリ・ジャパン(株)  
マルホ(株)  
ヤサカ産業(株)

(50音順)



# 日本で最も歴史あるアレルギー疾患患者の会

当会は昭和44年(1969年)2月、東京都墨田区にある同愛記念病院のアレルギー病棟に入院をしていた、ぜんそく患者たちによって発足をいたしました。

以来、多くの善意と患者のボランティア活動に支えられて全国組織となり、会員数も医師賛助会員200名を含め、約1,100名となりました。そして、専門医の方々をはじめ、社会的にも認めていただけるようになり、平成14年6月にNPO法人の認可、そして平成24年6月に認定NPO法人の認定を受け、さらなる社会的信用力を得ることができました。また、当会はぜんそくやアトピー性皮膚炎の患者やその家族、またはその支援者によるボランティアで運営されています。

## 対外活動実績

信頼ある患者会として、日本アレルギー学会や日本皮膚科学会などの専門医の学会において、患者からの提言を公表しています。また、新聞や雑誌の取材などにも協力し、アレルギー疾患患者の現状などの情報を社会へ発信しています。さらに下記のような患者支援プロジェクトにも参画し、患者を取り巻く環境の改善にも取り組んでいます。

- 患者の声協議会
- 喘息患者の生活・環境意識全国調査

〔主な学会発表・取材協力〕

- ◇第22回 日本アレルギー学会春季臨床大会  
「療養相談からわかるアトピー性皮膚炎患者の現状とアレルギー専門医へのメッセージ」
- ◇第32回 日本小児皮膚科学会学術大会 「アトピー性皮膚炎と上手につき合うために」
- ◇第24回 日本小児難治性喘息・アレルギー疾患学会 「気管支喘息を取り巻く環境—その問題点と対策」
- ◆毎日新聞 『ステロイド外用剤 アトピー性皮膚炎の薬 怖いイメージは誤解』
- ◆朝日新聞 『患者を生きる「大人のアトピー」』
- ◆NHK 『「きょうの健康」アトピー性皮膚炎 病気とどう向き合う?』

他多数

## 入会について

《年会費》 普通会員：4,000円  
医師賛助会員：6,000円



### 【お申し込み方法】

- ① 当会にご連絡ください。入会申込書と振込用紙を送付いたします。
- ② 当会ホームページより入会申込書をダウンロードし、メールで送信いただいた後、下記口座に年会費をお振込みください。

○郵便振替 00130-6-109985 NPO法人日本アレルギー友の会  
○みずほ銀行 錦糸町支店 普通1883801 トクヒ日本アレルギー友の会

**！入会特典** ご入会いただくと、各疾患の情報誌や薬の一覧など治療に役立つ資料を差し上げます！

### ご寄付のお願い

認定NPO法人となり、皆様の当会への寄付につきましても、寄付金控除などの税制優遇を受けることができます。患者の明るい未来のため皆様のご支援をお待ちしております。



認定特定  
非営利活動法人

# 日本アレルギー友の会

毎週火曜日・土曜日 11:00~16:00

〒135-0002 東京都江東区住吉2-6-5 インテグレート村上ビル3F  
E-mail ▶ j-allergy@nifty.com URL ▶ <http://www.allergy.gr.jp/>

TEL 03-3634-0865 FAX 03-3634-0850